

◆株式会社イノス

事業内容	情報サービス産業
所在地	本社：熊本県熊本市 支社：福岡県福岡市
従業員数	104名
主な制度・取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 短時間勤務だけではなく、週に3日のみ勤務等の短日勤務も利用可（育児・介護以外の理由でも利用可能）。 ▶ 一定能力以上の社員は、裁量労働制、在宅勤務制度が利用可能。
マネジメントについて	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ソフトウェア開発は男性だから向いているというわけではなく、性差はないものであるが、育児は女性が95%くらい担っているのが実態。建前の男女平等では困るため、男性社員と同じように教育投資時間をかけたと女性が働き続けることができるように制度を整備。 ▶ 評価は働いた時間分で実施。女性だけを対象とするのではなく、全社員に対して成果主義を導入。ただし、短時間勤務だからといっても仕事に責任を持ってもらうために、時間内に終わらなければ、残業も休出もある。 ▶ 企業として、ある程度の退職者数を想定した業務計画を立てているので、退職者がでたからといって、特に業務負荷が増大になり、生産性が低下するとは考えていない。
コスト・メリットについて	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 短時間勤務を導入したことで、人材育成コストと採用コスト（含、社員の負担）が減少。新人対既存社員の比率は以前だと10～15%であったが、現在は5～6%となり、人件費の抑制が可能。 ▶ 短時間勤務を利用する人は多くの場合1人で完結して仕事ができる世代であり、管理職としても、新人を育てるより、勤務時間は多少短くても1人前の仕事ができる人がいてくれた方が、業務運営をしやすいのが実態。 ▶ 在宅勤務者がいた際には、20万円くらいのパソコン購入費用と、通信設備費用がかかった。 ▶ 近年業界全体の入職者のレベルが全体的に下がってきているため、質が向上したかどうかについては判断しにくいですが、毎年、大卒者を5名以上採用できていることは、地方にある中小企業としては恵まれていると思っている。 ▶ 完全なデメリットがあれば、このような制度は実施していない。 ▶ 企業を紹介してもらうことは大きなメリットになっている。 ▶ 従業員の満足度が高いといわれている。
特記事項	▶ 平成14年度均等推進企業表彰熊本県労働局長賞受賞